

# 新基地建設は中止せよ

## 赤嶺議員がごまかしの「負担軽減」論を斬る

日本共産党の赤嶺政賢衆院議員は6日の衆院予算委員会で、安倍政権が8月から沖縄県名護市辺野古で開始した米軍新基地建設に向けた海上作業に8割を超す県民が反対している実態(地元マスコミ世論調査)を突きつけ、安倍首相を批判。新基地建設の中止を求めました。質問の要旨を紹介します。

### 県民の怒りに背を向け、アメリカいいなりの安倍首相

●赤嶺議員 なぜこれだけの県民が基地の建設に反対するのか、総理はどういう認識か。

赤嶺議員は、反対世論の根底に、基地があるが故に続いてきた県民の苦難の歴史があることを指摘。新基地建設で「沖縄本島北部・中部の住民に負担が集中し、将来にわたって苦しめられることになる」と告発しました。

○安倍首相 普天間の固定化はあってはならない。辺野古移設は負担軽減に十分資する。

中し、将来にわたって苦しめられることになる」と告発しました。

### 「移設」条件付き「負担軽減」が、普天間の返還を遅らせてきた(赤嶺議員)

辺野古に基地を移せば、騒音被害もゼロになると語る安倍首相。赤嶺議員は、今でさえ辺野古周辺では垂直離着陸機オスプレイが飛来し、学校や集落の上空を飛んでいること、東村高江では集落を取り囲むように着陸帯の建設が進んでいる実態を示し、「騒音ゼロはあり得ない」「基地が造られれば、訓練は激しくなる」と批判しました。

●赤嶺議員 首相は「一日も早い危険性の除去が必要だ」と言うが、移設条件を付けたことが、普天間の返還を遅らせてきたのではないか。

赤嶺議員は、移設条件付きにし、普天間の危険性を放置してきたのが日米両政府であり、住民の安全や生活よりも、米軍の運用を優先する姿勢だと厳しく批判しました。

### 本籍「岩国」でも、現住所は「沖縄」

### 「日米安保に手をつけられない限り沖縄の負担は軽減しない」(赤嶺議員)

赤嶺議員は、普天間基地から岩国基地へ移駐した空中給油機が再び普天間基地へ飛来して、離着陸訓練をしていることを指摘。江渡聡徳防衛相は辺野古新基地建設後の飛来を否定できませんでした。

赤嶺議員は、米軍が「(空中給油機は)今後も定期的に沖縄に飛来する」とのべていることを示して、「本籍地は「岩国」でも、現住所は「普天間」のままだ」指摘。F15戦闘機の訓練の一部が本土に移転

した嘉手納基地でも同じように外来機が飛来して、騒音被害がより激しくなった事例を提示し、迫りました。

●赤嶺議員 (安倍首相は辺野古はオスプレイだけというが)岩国基地に移駐した空中給油機は、辺野古の新基地にも飛来することになるのでは。

普天間基地のオスプレイが飛び交う沖縄県宜野湾市

●赤嶺議員 米軍は住民の生活や安全よりも軍事を優先する軍隊として69年間、私たちの目の前で活動してきた。米軍による自由勝手な基地使用を保障した日米安保条約・地位協定に手をつけられない限り、沖縄の負担は軽減しない。

○江渡防衛相 滑走路の長さを考えた場合、辺野古で(空中給油機を)運用するかは微妙。

●赤嶺議員 空中給油機の離陸に必要なのは最大1433メートル。オスプレイは1536メートルだから、新基地でも離着陸できる。

●江渡防衛相 最終的には米側の運用状況による。

## 県民の8割が「中止すべき」

(琉球新報、沖縄テレビ放送)

辺野古



## 11.16 知事選勝利へ 共産党いっせい地方選で躍進



9月の沖縄一斉地方選で日本共産党は3議席増の躍進。名護市議会議員選挙で稲嶺市長を支える与党の当選者が過半数を占め、1月の市長選に続き、「新基地建設ノー」の民意が示されました。11月の県知事選挙では、県内の全市町村長・議会議長らが普天間基地の閉鎖・撤去、「県内移設」断念などを求めて安倍首相に提出した「建白書」の立場を貫く翁長雄志さんを何としても押し上げようと、「オール沖縄」のたたかいがひろがっています。



安倍首相をただす赤嶺議員＝6日、衆院予算委

日本共産党

赤嶺質問の詳細はこちら  
赤嶺政賢ホームページ→

